

でも見ることはできませんが、専用のチューナーが必要で、場合によってはアンテナなど施設の整備も必要となります。また、日野町のように山の多い地域では、難視聴地区が増えるのではないかと心配もあります。

普及した携帯電話

エリア拡大が課題

電話も携帯電話が普及していつでも、どこからでも電話がかけられるほか、文字や画像の送受信、情報収集にも役立つなど便利になってきました。しかし町内では、やはり電波事情により、携帯電話が通じない地域もあり、この解消が課題となっています。

県では、情報通信

基盤の整備が進む

鳥取県では、情報通信基盤の整備を図るため、平成13年度から15年度にかけて情報ハイウェイの整備を進めています。これは、県内の主要地域に光ケーブルを敷き、市町村がさらにそれにつなげることで、行政運営の簡素・効率化、行政サービスの向上、地域産業の振興などに役立てようというものです。郡内では新築された日野総合事務所までケーブルが繋がれます。

町では、15年度中に

ネットワークを整備

町では、平成15年度中に情報ハイウェイにつなげ、町内公共施設における情報ネットワークを整備します。このように、情報技術が進む中、町では、住民の皆さんがこれらの技術を活用して、豊かな生活がおくれるようにしたいと考えています。中でもケーブルテレビは、テレビ番組が増えるだけでなく、防災無線に代わる地域情報の提供やイ

ンターネットの高速通信化が図れる面で魅力があります。しかし、その反面、施設の整備には多額の経費がかかるほか、利用料で運営経費をまかなっていくため、より多くの人に参加してもらおうことが必要になります。

アンケート調査結果

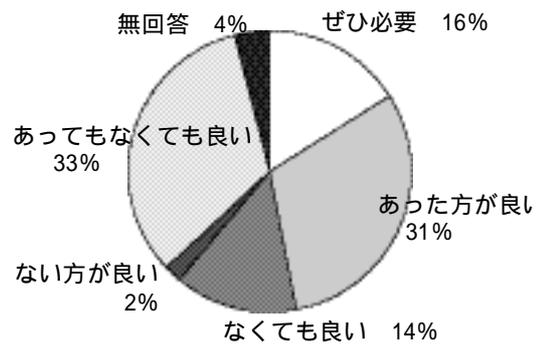
約半数がケーブル

テレビを希望

昨年11月に、ケーブルテレビ(CATV)とインターネットアンケートを、全世帯(1576世帯)を対象に実施しました。回収は661世帯(回収率42%)でした。主な調査結果を紹介します。

まず自宅のテレビアンテナ設置場所について聞くと、「自宅内(屋根等)」が51%、「離れた場所に設置」が8%、「共聴」が40%となっています。また半数近くの自治会で共聴と回答されており、山間地域で電波事情が悪いことが伺えます。

ケーブルテレビの必要性



ケーブルテレビ(CATV)の必要性については「ぜひ必要」16%、「あった方がよい」31%と肯定的な世帯が49%。逆に「なくても良い」14%で「ないほうが良い」2%と否定的な世帯が16%でした。「あってもなくても良い」33%となっています。

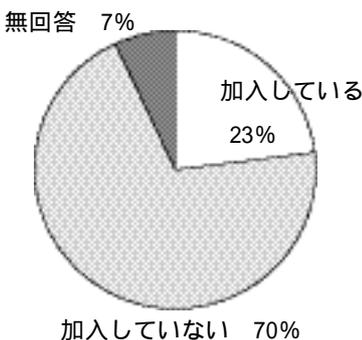
意見としては、「加入金や工事金、月々の使用料を安く設定してほしい」などの声が多く、「デジタル放送となっても現状維持を望む」「高齢者で、これ以上の負担を望まない」という人もありました。

インターネット

普及率は23パーセント

パソコンの所有状況について

インターネットの加入状況



て聞くと「ある」37%、「会社で利用している」2%と4割の世帯がパソコンの経験があることがわかりました。また「ない」という人は55%でした。インターネットの加入状況については「加入している」23%、「加入していない」70%でした。おおむね4世帯に1世帯がインターネットに加入していることが伺えます。意見としては「ブロードバンド化を望む」という声が多く、また「高齢の人もパソコンを習いはじめて関心がある」人もいます。逆に「高齢者等のため、必要性がわからない」という声もありました。

